

第三者評価結果報告書

第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

施設・事業所情報

名称：	川崎市わーくす高津	種別：	就労継続支援B型事業
代表者氏名：	施設長 渡辺 昌志	定員（利用人数）：	30（22）名
所在地：	213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口1-18-16		
TEL：	044-844-2602	ホームページ：	https://www.ikuo.or.jp/facility/care-support/kawasaki-takatsu/
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	1950年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 育桜福祉会		
職員数	常勤職員： 5.9名	非常勤職員：	1.8名
専門職員	社会福祉士 1名	介護福祉士	1名
施設・設備の概要	作業室 食堂	面談室 更衣室 2室 休憩室 トイレ 3室	

理念・基本方針

- 「心の風景を自由に表現できるキャンパスの創造をめざして」
1. 利用者が、喜怒哀楽を思う存分、自由に、表現できる心豊かな生活をめざし、支援します。
 2. 一人ひとりの「人」が主役（自主）である尊厳を持った生き方（自立）を支援します。
 3. 障害のある人、一人ひとりを大切にし、思いや願いに対し、その実現を図るべく個々に合致した支援・援助を展開します。
 4. 地域の居住する障害のある人に、障害状況や年齢、疾病、経済環境に関係なく、誰でもが安心して暮らせる地域生活を柱とした福祉サービスを展開します。
 5. 次の事項を念頭に福祉の実践を図ります。
 - （1）人権と人格の尊重
 - （2）利用者が地域生活の中で生きる術を体得し、生きがいを感じ、愛を醸し出せる福祉サービスの提供
 - （3）障害がある人の思いとその家族の思い
 - （4）障害がある人にとっての家庭
 6. 地域関係機関と連携し、特定のグループ・団体・思想・思いに偏ることなく、利用者が希望する事業展開と支援・援助の方策を図ります。
 7. 時代の流れは社会を変え生活環境を変化させます。常に時代を敏感に察知し、利用者が求める福祉ニーズを把握し、将来を見据えた事業展開と実践を行います。また、地域社会より希求される福祉サービスの提供を行います。
 8. 法人が社会の福祉サービス提供機関としての機能、事業所が地域社会の福祉サービス提供拠点としての機能、及び職員が福祉サービスの専門集団としての機能を十分に発揮できる連携を持った包括的な取り組みを行います。

施設・事業所の特徴的な取組

以下の項目に視点を置いて、就労継続支援B型事業に取り組んでいます。

1. 一人ひとりの想いに沿った生活スタイルの実現に向けた取り組みの推進
「就労・作業」「地域生活」「余暇」の3つの視点でアセスメントを実施し、本人の想いを丁寧に聞き取り、利用者支援のニーズを把握しています。見学や体験に取り組む機会を設定し、本人が希望する生活のイメージが具体的に持てるように、情報を提供に努めています。
2. 生活スキル(社会生活力)の向上に向けた取り組みの推進
実際の生活場面で、地域の社会資源を積極的に活用していく自信がもてるよう、日常生活上の基礎知識を学ぶ生活学習会を継続的に実施しています。
3. 就労に向けた取り組みの推進
ハローワークや就労援助センター、企業応援センターなどと連携し、職場実習や面接練習などの機会を提供しています。実習内容を振り返る場面を設定し、利用者が実習の目標や課題を具体的に意識できるように支援し、利用者が意欲的に就労を目指すようにしています。

第三者評価の受審状況

評価実施期間	(契約日)	2023年5月10日	～
	(評価結果確定日)	2023年12月8日	
受審回数(前回の受審時期)	2回	(2018年度)	

総評

◇特長や今後期待される点

◆障害のある利用者の社会生活力の向上をめざした取り組みに力を入れています

職員は、利用者の地域での生活に目を向け、地域社会との接点に広がりをもてるように支援しています。利用者の得意なことを生かし、自分自身を表現し、自分で選択し決めていく方法を身につけるように支援しています。生活学習会を開催し、日常生活の基礎知識を学べるように支援しています。利用者は、医師による糖尿病の学習会に参加して日常生活で注意すべきことを学び、また、自分の思いをはがきに書いて相手にしっかり伝えることを学習します。地域の店での買い物体験が、利用者の地域生活の自信につながっています。利用者は、生活学習会で学んだことを家族会の場でグループごとに発表し、協力して行動することの大切さを学んでいます。

◆多彩な作業プログラムにより就労意欲を育てています

個別支援計画に基づき就労継続支援として必要な作業プログラムを設定しています。多彩な作業プログラムを用意し、利用者の希望や適正に応じて担当業務を決めています。新聞玉を袋に詰めてクッション材として梱包に利用する製品、水道メーター分解作業、電球の所定数の袋詰め、マンションの清掃、伝票仕分け作業等多彩です。利用者は、意見を出し合い作業手順書を作成し手順を守ることの大切さについて話し合います。また、丁寧な仕事が社会の信頼につながることを実感します。職員は、工賃向上計画を整備し、利用者が工賃を得る喜びを感じることができるよう配慮し、働くことの大切さを感じ、就労意欲の向上につながるように支援しています。

第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

自己評価結果より、高評価をいただけたことについて安心しました。
しかし、マニュアルなどの整備や、ボランティアの育成などの課題を整えていく必要があると感じました。
アドバイスをいただいた内容も含め、今回の評価を今後の事業運営に生かしていきたいと考えています。